



Professional Mixing Controller

PCV-275

取扱説明書

〒154-0023

東京都世田谷区若林 1-18-6

電話 03-3412-7011 ファックス 03-3412-7013

Web : www.vestax.jp

Printed in JAPAN

ごあいさつ

この度は、VESTAX PCV-275 プロフェッショナルミキシングコントローラーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書を良くお読み下さるよう、お願いいたします。

目次

本機の特長	1
安全上のご注意	2
各部の名称と機能	3
プログラムインプット部	4
フェーダーユニットの交換	5
マイク・サブインプット部	6
アイソレータマスター部	6
リアパネル部	7
主な仕様	7

本機の特長

- 各プログラムチャンネル(PGM1, PGM2)にPHONO1系統、LINE2系統の入力を装備。それぞれのプログラムには、3バンドEQ、バランスコントロール、トリムコントロールを装備し、細かいセッティングが可能です。また、イントップフェーダーヴォリュームには60mmのフェーダーヴォリュームを使用しており、テクノ、トランス、ハウスドラムベースといったロングミックスを要求されるジャンルに最適です。フロントの操作パネル上に、ライン入力端子を1系統装備、MD・CD・DAT等の周辺機器の接続が容易に行えます。
- MICチャンネルにはMIC1、MIC2の2系統の入力を装備。HI、LOWの2BANDイコライザーにより、LOW PASS、HI PASS等の音質補正が行えます。
- 各チャンネルにエフェクト切替えスイッチを装備しており、プリフェーダー、ポストフェーダーの2通りの出力ラインを選択できます。2IN-2OUTステレオのセンド/レシーブ端子にエフェクターを接続することによりディレイ、リバーブ等の各種エフェクターを使用することができます。
- PGM1、PGM2にアイソレーターを装備しています。HI、MID、LOWの3帯域を自由にカットしながら2つの音楽ソースをミックスすることが可能です。
- 新開発のPCV(プラスチック・コンダクティブ)フェーダーを、クロスフェーダーに使用しました。なめらかかつスムーズな操作性と今まで類を見ない程の高寿命を実現しました。
- 操作面にパネルの継ぎ目のない、ダブルパネルシステムを採用しています。インプットフェーダー、クロスフェーダーはパネルの下にマウントされており、トップパネルをはずせば、簡単に交換することができます。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。



警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜け

- 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



分解禁止

- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



指を挟まれないよう注意

- △ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警告



電源プラグをコンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注意



電源プラグをコンセントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。